

森林組合だより

発行者／美山町森林組合 南丹市美山町島往古瀬26番地1 TEL.0771-75-0200(代)

迎春

旧年中は森林組合運営に格別のご協力を賜り御礼申し上げます
本年も変わらぬお力添えの程よろしくお願い申し上げます

代表理事組合長	大 牧 義 夫	理 事	川 勝 康 史
代 表 理 事	勝 山 秀 良	理 事	仲 道 曉
代 表 理 事	末 武 徹	理 事	東 襄
理 事	西 村 清	理 事	大 棚 均
理 事	中 西 伊 三 雄	代 表 監 事	大 下 芳 雄
理 事	坂 本 直 史	監 事	山 崎 昭
理 事	林 秀 治	監 事	古 屋 正 雄
理 事	上 田 武 司		

年頭のごあいさつ



代表理事組合長 大牧 義夫

明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、ご健勝にて新年をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。本年も昨年と変わらないご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

地球温暖化に起因すると言われていた異常気象は近年においては常態化し、昨年は9月初旬に日本列島を通過しました台風17・18号の影響により、関東・東北地域に豪雨をもたらし、栃木県日光市や宮城県等では数日間で9月の平年雨量の2倍を越える降雨量となったと報じられていました。鬼怒川の氾濫により広大な水田はもとより住宅地域に浸水した情景は、皆さん方も記憶に新しいところであろうと思います。夏季には、日本各地で体温を超える高温の日々が続き、高齢者を中心とする熱中症による死亡者の続出も過去にはなかった現象といえます。幸いにも美山町におきましてはこうした顕著な被害はなかったところですが、9月に入ってから雨天続きは、稲作の取り入れ作業に例年になく苦労を伴ったところもありました。

さて、森林・林業をめぐる状況は、木材価格の低迷が依然として長引く一方、各地の多くの人工林が標準伐期を迎え、育てる時代から利用する時代に来ていると言われています。こうした状況を踏まえ公共建築物を中心として木造化や木質化が積極的に

進められると同時に、従来にない耐震・耐熱化を施した建材や工法が開発され、木造による大型で高層の建築物に注目が寄せられています。また、木質バイオマス発電所が日本の各地に建設され、再生可能エネルギーとして木材や林地残材を燃料として活用する気運が高まっています。循環利用が可能な国内の森林資源を街づくりや地域のエネルギーに優先して利用する「ウッドファースト社会の実現」を全森連や全木連などが一体となって唱えられ、こうした社会への移行が望まれるところです。

京都府におきましては、丹波自然運動公園のトレーニングセンター(仮称)や京都木材会館(店舗・共同住宅含めて4階建て)が府内産材によって建造中です。今後の府内産材の利活用を推進するための大型の木材加工施設の誘致やこれに対応できる素材の供給システムを整備する方策が昨年度検討されてきました。現在の府内産材の産出量(約16万 m^3)を平成30年には約1.8倍近く(約28万 m^3)に引き上げる目標が掲げられています。また、林業関係者を中心として長年の念願でありました「京都府豊かな森を育てる府民税(仮称)」の創設に関する条例が12月府議会で審議可決され、本年から施行されることとなっています。これにより荒廃した森林の整備や山地災害の予防的な事業をはじめ府内産材の積極的な利活用を推進する仕組みづくりなど府としての事業が進められることになります。

このような木材需要の新たな高まりやこれを推進する諸施策の具体的な展開が、林業の振興、地域の活性化につながられていかなければなりません。また、美山町を中心とする国定公園の指定や京都府中部の「森の京都」構想と連携した活性化への方策が具体化される年となることに期待を寄せるところです。

先に述べました木材利用等の新たな状況が創出されようとしているとはいえ、今なお厳しい林業実態ではありますが、組合員の皆様のご理解とご支援を得ながら、役職員一体となって事業推進や運営に当たりたいと考えています。皆様方のご健康ご多幸をご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



組合員さんの移動についてのお願い

◎組合員の移動(加入、脱退、名義変更、所有林の増減など)は、ご本人様または、相続人様からの申請によってのみ可能であると、定款に定まっています。以下に該当される場合には速やかに手続きを済まされますよう、よろしくお願いいたします。

- ★加 入 届……………(新規加入)
- ★脱 退 届……………(山林の所有地を手離した、後継者がいないなど)
- ★組合員名義変更届…(相続、世代交代、共有林などの代表者変更など)
- ★山林移動届……………(売買などにより所有面積が増減した場合など)
- ★出資証券喪失届

上記書類は組合に備え付けていますが、お電話をいただくか、下記の申込書をFAX、または郵送でお送りくだされば、必要な書類を折り返しご送付申し上げます。

簡単な手続きですので、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

※手続きには認め印が必要ですので予めご用意願います。

◎平成24年4月より、個人・法人を問わず、売買や相続などにより森林の土地を新たに取得された方は、面積の多少に関わらず、90日以内に市町村長へ届出をしなければなりませんので、お気をつけください。

きりとり

「山林移動届」などに関わる書類送付申込書

ご住所

お名前

電話・FAX

美山町森林組合

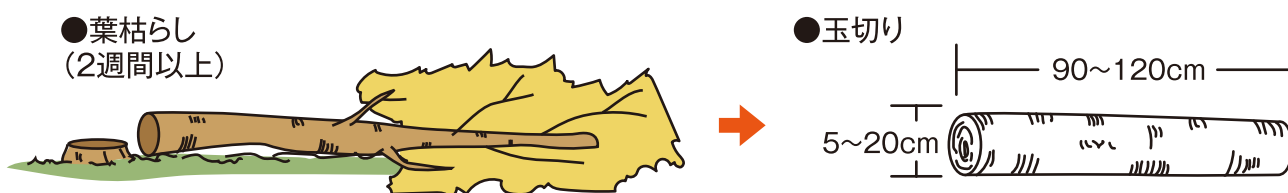
電話 0771-75-0200

FAX 0771-75-0955

原木しいたけ栽培

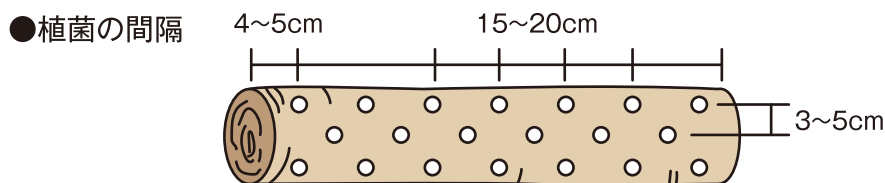
原木の伐採

原木しいたけ栽培に適した樹種は、クヌギ、コナラ、ミズナラです。他にも、アベマキ、ナラガシワ、シデ、カシ、シイ類も利用できます。落葉広葉樹の伐採は、秋の黄葉初期から春の新芽が出るまでの期間。カシ類やシイ類は厳寒期の1～2月が適しています。いずれの樹種も樹液の流動が停止する休眠期が伐採時期です。伐採した樹木は葉がついた状態で1か月ほど乾燥（葉枯らし）させます。乾燥が不十分だと樹皮下組織が生きた状態のままなので、しいたけ菌糸の成長の妨げになります。その後、約1メートルの長さに玉切りし、植菌場所へ運びます。植菌するまでは笠木や遮光ネットなどで直射日光に当てないように保管しておきます。

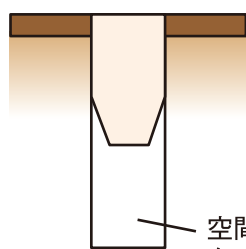
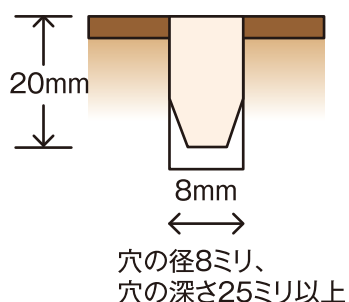


植菌について

しいたけの菌糸は、原木の繊維に沿って縦の方向に長く伸びます。植菌の間隔は原木の縦方向に15～20cm、横方向には3～5cmほどです。直径10cm、長さ1メートルの原木には、20～30個程度の種菌が目安となります。簡単な計算方法として、原木直径の1.5～2倍程度の数になります。植菌の時期は2～4月の梅の花が咲く頃から桜の花が咲く頃が適期とされています。ドリルで直径8ミリの穴を開け、種菌の頭が樹皮面より出ないように、金づちや木づちで種駒を打ち込みます。形成菌はオガ屑菌を駒形に形成した種菌で、上部にフタが付着しています。種駒と同じように、原木に穴を開け、指で押し込みます。この場合の穴の直径は12.7ミリとなります。種菌には「種駒」、「形成菌」、「オガ菌」の3種類があり、それぞれ植え方が異なりますので、注意してください。穴を開ける際は、原木の樹皮面に対して垂直に穴を開けます。駒菌を入れ忘れた穴があるところから雑菌が入るので打ち忘れのないようにします。打つ菌の数を通常の2～3倍にすると、菌が早く原木にまわるので害菌の侵入を防ぎ、早くしいたけを発生させることもできます。



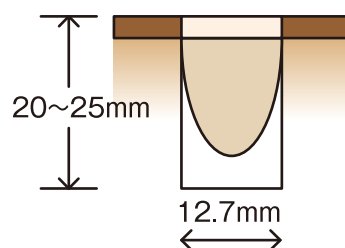
●種駒の植菌断面



大径木を原木に使用する際は、深さ30ミリ以上の穴を開ける

空間がある方がよい

●形成菌の植菌断面



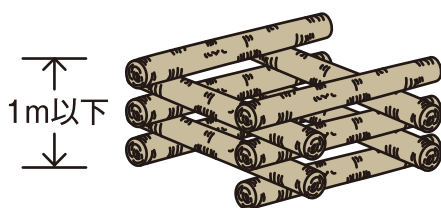
仮伏せ

植菌後は、しいたけ菌をしっかりと原木に根付かせるため、ほだ木を横積みしておく(棒積み)。棒積み場所は日当たりの良い林の中が最適です。裸地や庭先などの乾きやすい場所では、コモやムシロ、枝葉などをかけて乾燥を防ぎ保湿しておきます。乾くところでは、週に2回程度散水します。仮伏せの期間は、植菌してから2〜3か月間。4月以降は林の中などの日陰に移動させましょう。木口の菌糸紋「ゴムタケ」が発生してきたタイミングで本伏せします。

本伏せ

本伏せは、しいたけ菌を原木のより深くまで伸ばすために行います。種駒は駒の頭が白く発菌した頃、形成菌は木口に菌糸紋が発生する頃を目安にして、原木をヨロイ伏せなどに組み替えます。伏せ込み場として適している環境は、春から秋まで直射日光が当たらず、十分に雨が当たり、かつ通風が適度にあり、排水の良い場所です。庭の木陰なども利用できますが、直射日光が当たらないように注意します。日陰が不十分な時は、遮光ネットやヨシズなどをほだ木の上に張って対策します。梅雨時期から夏期にかけては、雑草や低木を刈り払い、通風をよくしておきます。9月頃にほだ木の天地返しや積み替えを行い、菌糸の均一な成長を促します。

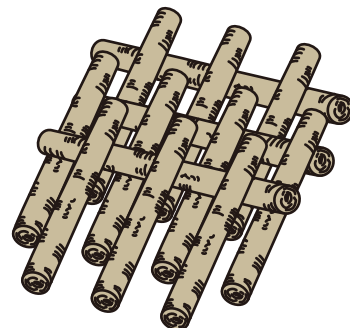
●ほだ木の組み方



井げた積み



ムカデ伏せ



ヨロイ伏せ

場所に応じて組み方を変えます。それぞれのほだ木に雨が当たり、風が通るようにします。

ほだ起こし〜しいたけ発生〜シーズン後の管理

ほだ木の中に菌糸が十分にまわると樹皮下にしいたけの原基が形成されます。ほだ木が水分を吸収し、低温刺激を受けた時にしいたけができます。しいたけを採りやすいようにほだ木をが重ならないように立てます(合掌立て)。9月〜10月はしいたけの基(原基)ができる時期なので積極的に散水します。中温性品種は夜間の最低気温が15℃以下の日が続く頃にしいたけが出来始めます。秋から春まで断続的に発生します。冬季は低温、乾燥で成長が止まりますが、春には成長が早くなります。春4月まで発生するので、採り遅れや採り残しのないように採取してください。シーズン後は、直射日光が当たらないことを確認し、雨がよくあたる、涼しい林内で夏越しさせます。



合掌立て

しいたけは品種開発が進んでおり、多くの品種があります。発生温度によって低温性、中温性、高温性などに分類されます。一般的には秋から春まで自然発生しやすい低中温性(中低温性)あるいは中温性を選ぶのが無難です。高温性品種は夏季に浸水操作して発生させますが、これは自然発生しないので注意しましょう。品種やその特徴など森林組合にお問い合わせください。

雨がよく当たること、直射日光が当たらないこと、杉林、雑木林など強風が当たらない場所

**原木しいたけの栽培は比較的簡単にできます。
採れたてのしいたけの美味しさは格別ですので、
ぜひチャレンジしてみてください。**

屋根の雪下ろしをお手伝いします

森林組合では、毎年、屋根などの除雪作業を承っています。屋根の雪下ろしは、とても危険で重労働です。南丹市の高齢者等除雪対策事業の制度を利用する除雪も行っています。除雪でお困りの場合は、電話でご連絡下さい。（担当:事業一課 丸山）



**費用は、
1人1時間あたり
2,500円です**

（機械を使用する場合は、別途ご請求いたします）

南丹市高齢者等除雪対策事業とは、南丹市の高齢者を対象とする補助事業です。事前に登録が必要ですが、除雪費用の9割の補助を受けることができます。



獣害対策は森林組合へ

野生鳥獣による農作物の被害にお困りではありませんか？森林組合では獣害対策の資材販売から設置まで承りいたします。比較的安価なリサイクルネット、電気柵から金網まで、各種取り揃えています。

（担当:事業一課 小島）

金網設置費用（材料費+作業費）

2,950円/m～

ステンレス入りネット

（材料費+作業費）

1,600円/m～



お見積りにお伺いいたします。一度ご連絡ください。

樹幹注入で松くい虫を予防します



従来の地上散布よりも効果が高く、マツノマダラカミキリ・マツノザイセンチュウを防除することができます。また薬剤が飛び散ることもなく、周囲に迷惑がかりません。

グリーンガード

施工単価：薬剤1本 4,200円(松1本に薬剤2~6本使用)

3~5年間に一度の施工で予防 1~2月頃に施工予定 お申込期限／1月31日まで

植栽後の期間が短い松、病虫害やその他の原因で弱っている松、特に小型な松(直径10cm以下)、五葉松などは施工できません。松の状態により従来の薬剤散布をいたします。まずは松の木を診断いたしますので、お申込みをお願いします。

エンジンチェーンソーのご購入は森林組合へ

森林組合では、下記掲載の新型チェーンソー以外にも、刈り払い機をはじめ、各種道具を多数取り揃えております。アフターメンテナンスもしっかりとできますのでご安心してご利用できます。一度店頭でご相談ください。

新機種 **超軽量と
ハイパワーを両立!**



枝払い、果樹の剪定に!
しいたけのほだ木作りにも!!

E2025TSの特徴

- エンジン出力14%向上 ※従来モデルE1327TSと最大出力時においての比較
- パワーと軽い吹き上がり
- 軽量化
- すぐれた重量バランス
- にぎりやすい



軽量

2.3kg

**POWER&MOBILITY
E2025TS**

排気量25.0ml

Softスタート



店頭価格：58,000円(税抜き)

他にも多数取り揃えておりますので、店頭でご確認ください

平成28年記念市及び大犯土表

月	記念市	大つち	小つち	土用	木の伐れる日
①	初市 8日(金)		1～3	18～31	4～17
②		18～24	26～29	1～3	4～17
③	創立47周年記念市26日(土)		1～3		4～31
④		18～24	26～30	16～30	1～15
⑤			1～2	1～4	5～31
⑥		17～23	25～30		1～16
⑦	鮎まつり 26日(火)		1	19～31	2～18
⑧		16～22	24～30	1～6	7～15
⑨	特市 26日(月)				1～30
⑩	第42回木材まつり26日(水)	15～21	23～29	20～31	1～14
⑪	特市 26日(土)			1～6	7～30
⑫	納市 20日(火)	14～20	22～28		1～13 29～31

☆ 記念市は予定です。
 ◎ 杉の太材 末口34cm上の一等材は非常に安値です。
 ☆ 大つち・小つち共7日間です。
 その期間に木を伐ると、虫が入りやすく腐りやすい。土用も又、同じ。
 ☆ 伐採・下刈りは、その期間に伐ると早く腐る。竹も同じ。
 ☆ 出荷量の少ない時、大雪の場合は中止することがあります。

最新市況報告 第1478回市 平成27年12月7日

スギ		単位:円
中 目	4m×18～24cm	8,500～11,000
〃	4m×24～30cm	13,000～20,000
柱	3m×16～20cm	8,000～10,000
〃	6m×16～20cm	13,000～14,000
元木良材	4m×24cm上	45,000～

ヒノキ		単位:円
柱	3m×16～20cm	12,000～15,000
〃	6m×16～20cm	15,000～22,000
中 目	4m×18～24cm	12,000～20,000
土 台	4m×14～16cm	13,000～14,000
元木良材	4m,6m共	50,000～60,000

市 況 コ メ ン ト	
スギ	良材少なく高値。並材は上昇気配
ヒノキ	良材は高値。細材は安いが中目材は少し高い
マツ	並値
モミ	良材は高価

良い木、売り良い木を育てましょう
(株)北桑木材センター提供
 TEL.075-854-0136
 FAX075-854-0332

あけましておめでとうございます

旧年中は格別のご協力をいただきありがとうございました。
 今年も私たち職員一同、組合員皆様のご指導を得ながら努力して参りますので
 よろしく願い致します。

1月4日
 仕事始めて
 平常通り
 営業いたします

総務課 (庶務・会計)	
課長 兼 会計主任	波多野 義幸
主 事	文字 美也子
主 事	藤元 繁美
主 事 補	大野 沙紀

事業一課 (造林・土木・購買)	
課 長	小島 啓伸
課長補佐	梅津 博英
技 師	勝山 幸男
技 師	木本 隆次
技 師 補	丸山 剛
臨 時	川勝 千秋

事業二課 (林産販売・間伐・補助金)	
課 長	小原 昭雄
技 師	廣瀬 大作
技 師	下野 佳孝
技 師 補	菊地 大輔